

3

ホームページ掲載情報のユニバーサルデザイン

3-1 世田谷区公式ホームページについて

世田谷区公式ホームページは、ユニバーサルデザインの考えを取り入れたホームページとして運用しています。運用方針において「年齢や障害の有無、言語の違い、インターネット通信環境など、様々な要因に左右されることなく、だれにでもわかりやすく、使いやすいホームページとします。」と定めています。

なお、詳しくは「世田谷区公式ホームページ運用方針」を参照してください。

3-2 ウェブアクセシビリティへの対応

3-2-1 ウェブアクセシビリティとは

ウェブアクセシビリティとは、「高齢者や障害者といった、ホームページなどの利用に何らかの制約があったり、利用に不慣れな人々を含めて、だれもがホームページなどで提供される情報や機能を支障なく利用できること」であり、JIS 規格（日本産業規格）に定められた規格です。

区公式ホームページは、この JIS 規格（JIS X 8341-3：2016）（資料編参照）の適合レベル AA に準拠しており、一番上の等級 AAA についても一部適合し、可能な限り配慮しています。

3-2-2 CMS（ホームページ作成システム）の導入と外部サービスなどの利用

ウェブアクセシビリティに対応するための機能を備えた CMS を導入するとともに、外部サービスや表示機能を付加することで統一的なページ作成が可能となり、ウェブアクセシビリティに対する一定の水準を確保しています。

（1）CMS の主な機能

- ・ 画像の代替テキストの必須設定
- ・ 機種依存文字の入力拒否
- ・ 不適切な配色の回避
- ・ 不要な文字装飾の入力拒否 など

(2) 表示機能

- ・文字の拡大機能
- ・文字・背景色切替え機能

(3) 外部サービス

- ・音声読み上げサービス
- ・ふりがなサービス
- ・外国語自動翻訳（英・中・ハングル）サービス

3-3 ホームページ掲載情報の作成ポイント

ユニバーサルデザインやウェブアクセシビリティに配慮した情報をホームページに掲載する際には、CMS だけでは対応できないこともあるため、実際に目視で確認しましょう。

3-3-1 タイトルで内容がわかること

視覚障害があり、音声読み上げソフトを使用する人など、ページ全体のレイアウトを見渡すことができない利用者にとって、ページタイトルはそのページを読み進めるかどうかを判断する重要な情報です。

- ・ページ内容を端的に表す単語やフレーズを含め、わかりやすいタイトルを付ける。
- ・簡潔なタイトルを設定する。
- ・他のページと重複するようなタイトルは設定しない。
- ・インターネット検索エンジンなどによる直接アクセスも意識する。

例

- | | | |
|---|-------------------|-----------------------------|
| × | 注意事項 | タイトルだけでは何に対しての注意事項なのかわからない。 |
| ○ | アクセシビリティについての注意事項 | タイトルだけで何に対しての注意事項かがわかる。 |

3-3-2 「音声読み上げソフト」で正しく読める表記にする

「2-3-2 「音声読み上げソフト」で正しく読める表記にする」を参照。

3-3-3 文章構造を正確に設定する

文章は「見出し」「箇条書き」など、各種設定機能を用いて文章の構造を規定する必要があります。

- ・見出しや箇条書きを正しく設定する。
- ・装飾の目的だけで見出しを設定しない。

3-3-4 リンク先は「わかりやすく・選択しやすく」設定する

ロービジョン（弱視等）の人や上肢に障害がある人などにとっても、リンク先を選択（クリック）しやすくする配慮が必要です。

(1) リンクを設定する文字や画像は適切な大きさとする

例

- × 1をクリック リンク部分が小さく、カーソルをあわせるのが困難。
- 1をクリック リンク部分が大きく、カーソルをあわせやすい。

(2) 複数リンクが連続するレイアウトでは「適切な間隔」をあける

例

- × [リンクA](#) [リンクB](#) [リンクC](#) リンクの間隔が狭く、ひと続きのリンクに見える。
- [リンクA](#) [リンクB](#) [リンクC](#) リンクの間に空白などを入れて間隔をあける。

(3) リンク先の内容が的確に推測できるように設定する

リンクの文字を設定する際、「こちら」や「ここ」と表記すると、読み上げている人にとってリンク先の内容が推測できなかったり、意図したリンクを選択できない可能性があります。リンク文字列だけでリンク先の内容が的確に推測できるように設定します。

- ・適切な範囲でリンクを設定することで、選択しやすく、内容を推測しやすくなる。
- ・「こちら」や「ここ」だけではなく、具体的な内容を書き示す。
- ・PDFなどのファイルにリンクする場合、ファイル形式を表示する。



3-3-5 表を使用する場合、表示順序を考慮するなど、内容を把握しやすくする

表が音声読み上げソフトの特性（左上から右下へ向かって読むなど）に沿って構成されていない場合、各項目の読み上げ順序がバラバラになってしまうため、読み上げ時に表の情報が理解できません。表の中に表を入れた場合や、セルの結合を多用した表などは、意図したとおりに読み上げることができない可能性があります。

- ・音声読み上げソフトの特性（左上から右下へ向かって読むなど）を考慮した構成の表にする。
- ・行や列の見出しには、CMSで見出しであることの設定を行う。
- ・サイズが大きい表などは、見出しとデータ部分を区別するなど、データ構造が把握しやすくなるよう工夫する。

3-3-6 添付ファイルについて

(1) PDFの添付

Word、Excel は、閲覧するためにアプリケーションソフトの Microsoft Office が必要なため、PDF、テキストファイルも添付します。

(2) 音声読み上げソフトに対応

音声読み上げソフトは、添付ファイルの内容がテキスト化されていない場合、読み上げることができません。添付ファイルは音声読み上げに対応する必要があります。

詳しくは、「2-3-1 音声読み上げソフトに対応して作成する」を参照。

3-3-7 ユニバーサルデザインに関する区民利用施設の設備